

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 7 月 28 日 (2016.7.28)

【公開番号】特開 2015-25943 (P2015-25943A)

【公開日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2015-008

【出願番号】特願 2013-155348 (P2013-155348)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

G 0 2 F 1/167 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 4 8 Z

G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z

G 0 2 F 1/1345

G 0 2 F 1/167

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/06

G 0 2 F 1/13 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 6 月 9 日 (2016.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の基板が電氣的に接続される実装構造であって、  
第 1 端子を切り欠いた第 1 のアライメントマークを有する第 1 基板と、  
第 2 端子を切り欠いた第 2 のアライメントマークを有する第 2 基板と、を備え、  
前記第 1 のアライメントマークと前記第 2 のアライメントマークとを用いて、前記第 1 端子と前記第 2 端子とを相対的に位置合わせして、前記第 1 端子と前記第 2 端子とが電氣的に接続されていることを特徴とする実装構造。

【請求項 2】

前記第 1 基板及び前記第 2 基板のそれぞれは、第 1 の方向に並んで設けられた 2 つ以上の端子を有し、

アライメントマークは前記第 1 の方向に並んだ前記 2 つ以上の端子のうち両端側に位置する端子に設けられ、

前記第 1 基板において、前記両端側に位置する端子のうちの少なくとも一方の端子が前記第 1 端子であり、

前記第 2 基板において、前記両端側に位置する端子のうちの少なくとも一方の端子が前記第 2 端子であることを特徴とする請求項 1 に記載の実装構造。

【請求項 3】

前記 2 つ以上の端子のうち、他の端子に比べて幅の広い端子にアライメントマークが形成されていることを特徴とする請求項 2 に記載の実装構造。

【請求項 4】

前記幅の広い端子は、電源用として用いられることを特徴とする請求項 3 に記載の実装構造。

【請求項 5】

前記第 1 基板は、前記第 1 端子に隣り合う第 3 端子を有し、

前記第 1 のアライメントマークは、前記第 1 端子の形成領域における前記第 3 端子と隣り合う側に形成され、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 のアライメントマークと相対する位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項 に記載の実装構造。

【請求項 6】

前記第 1 のアライメントマークは、前記 2 つ以上の端子の形成領域に跨って形成され、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 のアライメントマークと相対する位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項 に記載の実装構造。

【請求項 7】

前記第 1 基板は、前記第 1 端子に隣り合う第 3 端子を有し、

前記第 1 のアライメントマークは、前記第 1 端子の形成領域と、前記第 3 端子の形成領域とに跨って形成され、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 のアライメントマークと相対する位置に設けられていることを特徴とする請求項 6 に記載の実装構造。

【請求項 8】

前記第 1 基板は、前記第 1 端子に隣り合う第 3 端子と、前記第 3 端子に隣り合う第 5 端子を有し、

前記第 2 基板は、前記第 2 端子に隣り合う第 4 端子と、前記第 4 端子に隣り合う第 6 端子を有し、

前記第 1 のアライメントマークは、前記第 1 端子の形成領域と、前記第 5 端子の形成領域とに跨って形成され、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 2 端子の形成領域と、前記第 6 端子の形成領域とに跨って形成されていることを特徴とする請求項 6 に記載の実装構造。

【請求項 9】

前記第 1 のアライメントマーク及び前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 の方向の位置合わせ部位を備えていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項 に記載の実装構造。

【請求項 10】

前記第 1 のアライメントマーク及び前記第 2 のアライメントマークは、

前記第 1 の方向の位置合わせ部位と、

前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向の位置合わせ部位と、を備えていることを特徴とする請求項 9 に記載の実装構造。

【請求項 11】

前記第 1 のアライメントマークは、前記第 1 端子の形成領域を切り欠いてなり、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 2 端子を構成する導電膜の一部からなり、前記導電膜の一部の周辺を切り欠いてなることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか一項 に記載の実装構造。

【請求項 12】

前記第 1 基板と前記第 2 基板との少なくとも一方は光透過性を有していることを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれか一項 に記載の実装構造。

【請求項 13】

電気光学素子が形成された第 1 基板に第 2 基板が電氣的に接続された構造を有する電気光学装置であって、

前記第 1 基板は、第 1 端子と、前記第 1 端子を切り欠いた第 1 のアライメントマークとを有し、

前記第 2 基板は、第 2 端子と、前記第 2 端子を切り欠いた第 2 のアライメントマークとを有し、

前記第 1 のアライメントマークと前記第 2 のアライメントマークとを用いて、前記第 1 端子と前記第 2 端子とが相対的に位置合わせされ、前記第 1 端子と前記第 2 端子とが電氣的に接続されていることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 1 4】

前記第 1 基板及び前記第 2 基板のそれぞれは、第 1 の方向に並んで設けられた 2 つ以上の端子を有し、

アライメントマークは前記第 1 の方向に並んだ前記 2 つ以上の端子のうち両端側に位置する端子に設けられ、

前記第 1 基板において、前記両端側に位置する端子のうちの少なくとも一方の端子が前記第 1 端子であり、

前記第 2 基板において、前記両端側に位置する端子のうちの少なくとも一方の端子が前記第 2 端子であることを特徴とする請求項 1 3 に記載の電気光学装置。

【請求項 1 5】

前記第 1 基板は、前記第 1 端子に隣り合う第 3 端子を有し、

前記第 1 のアライメントマークは、前記第 1 端子の形成領域における前記第 3 端子と隣り合う側に形成され、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 のアライメントマークと相対する位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 3 又は 1 4 に記載の電気光学装置。

【請求項 1 6】

前記第 1 のアライメントマークは、前記 2 つ以上の端子の形成領域に跨って形成され、

前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 のアライメントマークと相対する位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 3 又は 1 4 に記載の電気光学装置。

【請求項 1 7】

前記第 1 のアライメントマーク及び前記第 2 のアライメントマークは、前記第 1 の方向の位置合わせ部位を備えていることを特徴とする請求項 1 3 乃至 1 6 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 1 8】

前記第 1 のアライメントマーク及び前記第 2 のアライメントマークは、

前記第 1 の方向の位置合わせ部位と、

前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向の位置合わせ部位と、を備えていることを特徴とする請求項 1 7 に記載の電気光学装置。

【請求項 1 9】

前記電気光学素子が有機エレクトロルミネッセンス素子、液晶素子又は電気泳動素子のいずれかであることを特徴とする請求項 1 3 乃至 1 8 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 2 0】

請求項 1 3 乃至 1 9 のいずれか一項に記載の電気光学装置を備えていることを特徴とする電子機器。